

山田美妙雜稿

世界名教大辭典  
二月事物

特別

15  
1664  
9



15  
1664  
9

二月事物

初干

特別ノモノトスル。山城國、紀伊郡、楠高山ノ神事カ

楠高山ノ神事カ。山城國、紀伊郡、楠高山ノ神事カ。油揚ケヲ供ヘ、馬鹿糞子ヲ行ナシ、

楠荷社

山城國、紀伊郡。旧社領、石巻六石。神武天皇紀元一千三百七十二年、元明天皇御

宇、延喜八年三月、始メテ神社トシテ、神事ナリ。又神武天皇紀元一千五百六十八年、醍醐天皇ノ

土祖神

同上ノニ。上社

倉稲魂

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

上社

土祖神ノ

福多

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

下社

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

田中社

楠荷社ノ振社ノ

中社

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

四大神

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

明日尚田社

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

白狐社

同上ノニ。上社

御倉上社

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

明成山

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

飛鳥田社

同上ノニ。上社

御田社

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

飯成山

楠荷社ニ奉ラレル祭神ニ座ノハチ、

(桐荷山) 同上、ツノ列ノ

(新住供) 初十日、昔新住五氏、即チ松本、大西、枝川、

テマツル供物。黒川通祐、日次紀事、此日、

社家毛判氏調進ス。門前ノ家ニ百穀ノ種、ナラビニ群来

ノ種ヲ賣ル。又大小ノ陶器ヲ賣ル。ソノ大ナルモノハ、

油漬ヨリハヒステアコレ。轉法燒、ヤチモノヲ

トス。コレヲ以テ、賣ラズカレ、又大久モ陶ヲ此内ニ入レテ

火中ニ投ビ、度々燒トス。今日民家多ク

筆ノ向ニ、トマルモノ有レタ、其人、種ヲ得タリトシ、

乞ヒ得テ家珍トス。

(鶯) 春鳴クトテ珍重サレル鳥。ノレヨ、

色移ノモノハ、漢名所謂、

日本ニハ、アマリクク居ル、

ニ似、酒ガ空ニツク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

(鶯) 同上。

(全夜心子) 同上。

(春起) 春ガハヒアルト、

陰曆正月鳴キ、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

鶯ノ鳴ク、

(黄鶯) 同上。

(人來鳥) 下リクク、

(花見鳥) 鶯ノ鳴ク、

(小鳥) 同上、

(百千鳥) 鶯ノ鳴ク、











**(王城梅)** 花ノ昔カ大キク、ウスクシナク多。花頭大而微紅、色甚新。可愛。花ノ見ルニ  
 足ラズ。枝傳花鏡、コトシ一重葉末大。五月熟。十  
 月中多ク熟ハシ、カクノナイモ。其ノ葉末少シ。  
 即紅梅。花共ニ冠城相似。  
 実微甘而脆。信濃梅、廣各。  
 而末白濃。并梅中。  
 奇品。  
 花小而微黃。

**(羅梅)** 同上ノ  
 一名。花色淡紅。実

**(杏梅)** 花ウスシテ、夫、ヒラク  
 イウメ。花ヨリムレロ  
**(里梅)** クトスフウメ、

**(水梅)** 花色死上白ク、色ニシテ、花ニテ透明ニ見テ、夕夕モ、ウメ。枝傳花鏡、コトシ、  
 實生葉末、麁而不花、色如水。枝傳花鏡、コトシ、花如  
**(冬梅)** 冬ニチテ、夫、ヒラク  
 フウメ。枝傳花鏡、  
 實ハ實美カシク、  
 扁而玉、其味似杏。  
 枝傳花鏡、コトシ、  
 花ニテ、枝傳花鏡、コトシ、  
 合、冬ニ、春、瓜、白、造、代、勿、成、枝、皮、毫、意、足、不、求、貌、也、似、前、身、相、馬、九、方、鼻、し、

**(鶴頂梅)** アカク大キナシ、夫、ヒラク、  
 常梅。惟美大而紅。  
**(九英梅)** 実ハ不詳ノウ。巨白居易ト杜申トカ、實美シク、  
 ト、傳、花、鏡、コトシ、

**(品字梅)** 後ニルル、夫、ヒラク、  
 一、夜、結、三、實、但、其、實、小、不、堪、咲、  
**(寶座論)** 同上ノ梅、  
**(源氏)** 紅梅、一種、花ノ、サ、ク、ハ、ナ、ヒ、ラ、ヘ、リ、淡、白、イ、モ、  
**(錦繡山)** 白梅、一種、ハ、重、葉、キ、テ、花、ヒ、ラ、ス、ケ、レ、テ、

**(豐後梅)** 淡紅梅、一種、花ハ、八、重、葉、ハ、ウ、ス、シ、ラ、示、レ、実、モ、花、ト、  
 共、ニ、大、キ、ク、甘、味、タ、モ、合、ハ、シ、  
**(鶴梅)** 同上ノ  
 漢名。  
**(未開梅)** 淡紅梅、一種、  
 花ト向クナルモ。  
**(薄子梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
**(綸見梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、

**(冠城梅)** 同上ノ、  
 花ノ見ルニ  
**(清梅)** 紅梅、一種、  
 枝傳花鏡、コトシ、

大和山、相傳、真武折梅枝、神樹白、五、道、成、花、開、果、結、後、柳  
 果、開、梅、結、美、至、今、上、世、尚、在、五、龍、宮、北、  
 傳、花、鏡、コトシ、一、重、葉、枝、唇、紅、  
 實、輕、盈、一、葉、双、葉、夫、  
**(花座論)** 同上ノ梅、  
 和名。  
**(端白)** 同上ノ  
 一名。  
**(蘇枋梅)** 淡紅梅、一種、花ノ、サ、ク、ム、ラ、ケ、リ、咲、ク、枝、切、リ、口、  
 カナカラ、蘇、枋、粉、出、ク、ア、カ、ク、モ、  
 オ、ヒ、ニ、ヒ、タ、ヒ、咲、ク、白、梅、  
 一、種、(地錦抄)。  
 方、カ、ラ、出、タ、レ、テ、フ、ノ、地、名、カ、ツ、ク、終、  
 ツ、稱、ト、ナ、フ、ク、  
**(寒紅)** 同上ノ  
 一名。  
**(常生)** 白梅、一種、一、重、葉、ノ、ツ、ク、美、ハ、枝、マ、テ、青、ク、テ、枝、ニ、  
 附、着、シ、タ、マ、ノ、落、ナ、ス、モ、  
 レ、テ、大、キ、ク、キ、ナ、イ、モ、  
 ノ、(地錦抄)。  
 咲、キ、ノ、モ、ノ、和、泉、武、部、ノ、室、友、シ、タ、  
 モ、採、ト、ス、ヲ、

**(寶座論)** 同上ノ梅、  
 和名。  
**(源氏)** 紅梅、一種、花ノ、サ、ク、ハ、ナ、ヒ、ラ、ヘ、リ、淡、白、イ、モ、  
**(錦繡山)** 白梅、一種、ハ、重、葉、キ、テ、花、ヒ、ラ、ス、ケ、レ、テ、

**(豐後梅)** 淡紅梅、一種、花ハ、八、重、葉、ハ、ウ、ス、シ、ラ、示、レ、実、モ、花、ト、  
 共、ニ、大、キ、ク、甘、味、タ、モ、合、ハ、シ、  
**(鶴梅)** 同上ノ  
 漢名。  
**(未開梅)** 淡紅梅、一種、  
 花ト向クナルモ。  
**(薄子梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
**(綸見梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、

**(冠城梅)** 同上ノ、  
 花ノ見ルニ  
**(清梅)** 紅梅、一種、  
 枝傳花鏡、コトシ、

**(寶座論)** 同上ノ梅、  
 和名。  
**(源氏)** 紅梅、一種、花ノ、サ、ク、ハ、ナ、ヒ、ラ、ヘ、リ、淡、白、イ、モ、  
**(錦繡山)** 白梅、一種、ハ、重、葉、キ、テ、花、ヒ、ラ、ス、ケ、レ、テ、

**(豐後梅)** 淡紅梅、一種、花ハ、八、重、葉、ハ、ウ、ス、シ、ラ、示、レ、実、モ、花、ト、  
 共、ニ、大、キ、ク、甘、味、タ、モ、合、ハ、シ、  
**(鶴梅)** 同上ノ  
 漢名。  
**(未開梅)** 淡紅梅、一種、  
 花ト向クナルモ。  
**(薄子梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
**(綸見梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、

**(冠城梅)** 同上ノ、  
 花ノ見ルニ  
**(清梅)** 紅梅、一種、  
 枝傳花鏡、コトシ、

**(寶座論)** 同上ノ梅、  
 和名。  
**(源氏)** 紅梅、一種、花ノ、サ、ク、ハ、ナ、ヒ、ラ、ヘ、リ、淡、白、イ、モ、  
**(錦繡山)** 白梅、一種、ハ、重、葉、キ、テ、花、ヒ、ラ、ス、ケ、レ、テ、

**(豐後梅)** 淡紅梅、一種、花ハ、八、重、葉、ハ、ウ、ス、シ、ラ、示、レ、実、モ、花、ト、  
 共、ニ、大、キ、ク、甘、味、タ、モ、合、ハ、シ、  
**(鶴梅)** 同上ノ  
 漢名。  
**(未開梅)** 淡紅梅、一種、  
 花ト向クナルモ。  
**(薄子梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
**(綸見梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、

**(冠城梅)** 同上ノ、  
 花ノ見ルニ  
**(清梅)** 紅梅、一種、  
 枝傳花鏡、コトシ、

**(寶座論)** 同上ノ梅、  
 和名。  
**(源氏)** 紅梅、一種、花ノ、サ、ク、ハ、ナ、ヒ、ラ、ヘ、リ、淡、白、イ、モ、  
**(錦繡山)** 白梅、一種、ハ、重、葉、キ、テ、花、ヒ、ラ、ス、ケ、レ、テ、

**(豐後梅)** 淡紅梅、一種、花ハ、八、重、葉、ハ、ウ、ス、シ、ラ、示、レ、実、モ、花、ト、  
 共、ニ、大、キ、ク、甘、味、タ、モ、合、ハ、シ、  
**(鶴梅)** 同上ノ  
 漢名。  
**(未開梅)** 淡紅梅、一種、  
 花ト向クナルモ。  
**(薄子梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
**(綸見梅)** 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、  
 夫、ヒラク、ウ、ス、シ、ノ、梅、

**(冠城梅)** 同上ノ、  
 花ノ見ルニ  
**(清梅)** 紅梅、一種、  
 枝傳花鏡、コトシ、

**(寶座論)** 同上ノ梅、  
 和名。  
**(源氏)** 紅梅、一種、花ノ、サ、ク、ハ、ナ、ヒ、ラ、ヘ、リ、淡、白、イ、モ、  
**(錦繡山)** 白梅、一種、ハ、重、葉、キ、テ、花、ヒ、ラ、ス、ケ、レ、テ、







(梅影) 支リテラテノ、ウソノ  
 (梅香) ウメガハ。  
 (梅氣) ウツノ、ウツノ、ウツノ  
 (梅肉) ウツノ、ウツノ、ウツノ  
 (梅心) 柳眼、柳心、柳心、柳心  
 (梅園) ウツノ、ウツノ  
 (梅季) ウツノ、ウツノ  
 (梅柳) ウツノ、ウツノ  
 (梅竹) ウツノ、ウツノ

(梅色) ウツノ、ウツノ  
 (梅香) ウツノ、ウツノ  
 (梅韻) ウツノ、ウツノ  
 (梅頰) ウツノ、ウツノ  
 (梅品) ウツノ、ウツノ  
 (梅影) ウツノ、ウツノ  
 (梅香) ウツノ、ウツノ  
 (梅品) ウツノ、ウツノ

ニ云フ、詩経「山有嘉木、實繁華。侯梅。一曰、山有嘉木、實繁華、生於一之下、人取其實、雖錢而害之、今不得其法、前人多賦、富人之財、而弱民之困、窮。」  
 (梅雨) ウツノ、ウツノ  
 (送梅雨) ウツノ、ウツノ  
 (梅雨潭) ウツノ、ウツノ  
 (出梅) ウツノ、ウツノ

(梅影) 支リテラテノ、ウソノ  
 (梅香) ウメガハ。  
 (梅氣) ウツノ、ウツノ、ウツノ  
 (梅肉) ウツノ、ウツノ、ウツノ  
 (梅心) 柳眼、柳心、柳心、柳心  
 (梅園) ウツノ、ウツノ  
 (梅季) ウツノ、ウツノ  
 (梅柳) ウツノ、ウツノ  
 (梅竹) ウツノ、ウツノ

(梅色) ウツノ、ウツノ  
 (梅香) ウツノ、ウツノ  
 (梅韻) ウツノ、ウツノ  
 (梅頰) ウツノ、ウツノ  
 (梅品) ウツノ、ウツノ  
 (梅影) ウツノ、ウツノ  
 (梅香) ウツノ、ウツノ  
 (梅品) ウツノ、ウツノ

大明一統志、一曰、山有嘉木、實繁華。侯梅。一曰、山有嘉木、實繁華、生於一之下、人取其實、雖錢而害之、今不得其法、前人多賦、富人之財、而弱民之困、窮。」  
 (梅雨) ウツノ、ウツノ  
 (送梅雨) ウツノ、ウツノ  
 (梅雨潭) ウツノ、ウツノ  
 (出梅) ウツノ、ウツノ

大明一統志、一曰、山有嘉木、實繁華。侯梅。一曰、山有嘉木、實繁華、生於一之下、人取其實、雖錢而害之、今不得其法、前人多賦、富人之財、而弱民之困、窮。」  
 (梅雨) ウツノ、ウツノ  
 (送梅雨) ウツノ、ウツノ  
 (梅雨潭) ウツノ、ウツノ  
 (出梅) ウツノ、ウツノ

(梅溪) 友那平岡縣之各所。南康記。平岡縣。坊村有。一。入致。又。梅陰山。十步。奴峽。向裏一處。臨即似屋。高十餘丈。此六世種乳。又。梅陰山。又。支那。臨南。有。三。梅。各所。大明一統志。一。在。臨南。有。平岡縣。西。三十里。有。支那。林。支。氏。梅。梅。各所。同。名。也。

(梅溪山) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅潭) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅井) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅徑) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅梁湖) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅梁湖) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅梁湖) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅梁湖) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅梁湖) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅梁湖) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

(梅梁湖) 支那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。支。那。故。臨。縣。在。南。奇。山。各所。一。齊。晉。記。一。吳。興。故。臨。縣。東。三十里。有。

不得。村皆曰。以中無。一。平。無。為。道。士。者。惟。南。岳。中。有。梅。真。君。像。得。非。此。耶。不。得。村。皆。曰。以。中。無。一。平。無。為。道。士。者。惟。南。岳。中。有。梅。真。君。像。得。非。此。耶。

(梅也) 唐。玄。字。平。地。梅。子。受。之。自。後。竟。不。敢。復。過。一。各。得。之。一。昔。郭。梅。吹。傳。一。姓。江。南。中。高。方。士。使。南。粵。見。其。少。孺。一。父。仲。避。世。為。道。士。北。年。九。歲。能。誦。三。南。父。奇。之。名。曰。亦。嶺。株。上。榜。曰。梅。亭。梅。用。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(江仲遠) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。

(梅亭) 梅。也。一。賦。實。至。忍。力。鶴。亦。花。下。不。能。去。上。以。其。所。好。戲。名。曰。一。







併の併神ト

(天津屋根命) 若宮、ソノ本社祭ラレルニ座神ノ

(手力雄神) 若宮、ソノ内院ノ南ノ座ニ

(一童子明神) 同上、ソノ外

(南宮明神) 同上、ソノ南ノ座ニ祭ラレル神

(唐瀨明神) 同上、兵主明神

(世八所明神) 同上、野橋明神ノ南ニ祭ラレル

(辨才天社) 同上、佐良氣明神ノ南ニ祭ラレル

(貞壽) 風名

(吉野齋配) 同上、陰曆二月初、大和國、吉野山、吉水院ニ於テ行ナレタニ、二月遣式トシ、神

(飯) 二月春節トナラセ、ナチノ元実サ

天津屋根命) 若宮、ソノ本社祭ラレルニ座神ノ

(手力雄神) 若宮、ソノ内院ノ南ノ座ニ

(一童子明神) 同上、ソノ外

(南宮明神) 同上、ソノ南ノ座ニ祭ラレル神

(唐瀨明神) 同上、兵主明神

(世八所明神) 同上、野橋明神ノ南ニ祭ラレル

(辨才天社) 同上、佐良氣明神ノ南ニ祭ラレル

(貞壽) 風名

(吉野齋配) 同上、陰曆二月初、大和國、吉野山、吉水院ニ於テ行ナレタニ、二月遣式トシ、神

(飯) 二月春節トナラセ、ナチノ元実サ

ト申ス、十月五日、來五月、元長、百不展ノ行人、寺僧方ヲ、花供トシテ、満堂方ヲ、  
是日、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、花供トシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、  
本堂ニシテ、御神酒ヲ獻ジ、奉幣ナリ。本堂、唐庭ニシテ、

モト神武天皇紀  
摩耶布

摩耶布

摩耶布

摩耶布

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

西行

西行

西行

西行

西行

西行

モト神武天皇紀  
摩耶布

摩耶布

摩耶布

摩耶布

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

二日灸

西行

西行

西行

西行

西行

西行

朝復行サレ、わりの藤三郎銀猫ヲ贈ラレタケ、受ケタマヘテ門外ノ堂ノ奥ニ葬ヘテソノマ、シテ去ワタトモス。  
又、傳説、西行ハ、ネケハク代ノ下ニテ春死ナシ、ソノキサキモ十月ノ頃シト云フ。和歌ヲ詠シタカ、ソノ略  
終ハ具和歌ヲ述ベタシ、如ク二月十五日、即チ恰モ年終、後白河天皇御宇、建久。

(江口遊女) 西行ノ名ニ伴フテソノ名ノ傳ハル。名ハ妙、ムカシ摂津國ノ天満ノ北東凡二  
三ノ里、西行ケソコ遊歴シ来リ、兩邊ニ遊女ノ家ヲ立テヤトリヲ符ヤウロシタ所、遊女ハ拒ンタ  
テ、西行ハ和歌ヲ詠シテ聞カセ、マタ遊女モソレニ應ジケ及ビテ傳説。西行ノ教ハ、世ノ中  
ニ、厭フ色ヲカテカラ、假リヤトリヲ指シム君カナシ。遊セ、教ハ、家ヲカル人トシ

(江口遊女) 里、ソノ江ノ里、ソノイマ湊口ニ遊女トソコ居タ人。六條天皇御宇、仁安  
二年十月、西行ケソコ遊歴シ来リ、兩邊ニ遊女ノ家ヲ立テヤトリヲ符ヤウロシタ所、遊女ハ拒ンタ  
テ、西行ハ和歌ヲ詠シテ聞カセ、マタ遊女モソレニ應ジケ及ビテ傳説。西行ノ教ハ、世ノ中  
ニ、厭フ色ヲカテカラ、假リヤトリヲ指シム君カナシ。遊セ、教ハ、家ヲカル人トシ

(妙) 江口遊女ノ里、ソノイマ湊口ニ遊女トソコ居タ人。六條天皇御宇、仁安  
二年十月、西行ケソコ遊歴シ来リ、兩邊ニ遊女ノ家ヲ立テヤトリヲ符ヤウロシタ所、遊女ハ拒ンタ  
テ、西行ハ和歌ヲ詠シテ聞カセ、マタ遊女モソレニ應ジケ及ビテ傳説。西行ノ教ハ、世ノ中  
ニ、厭フ色ヲカテカラ、假リヤトリヲ指シム君カナシ。遊セ、教ハ、家ヲカル人トシ

(行基) 行基、陰曆二月二日、摂津國河辺郡、民陽寺ニ行  
基、寺カ畿内、凡ニ九ノ下ヲシタ  
大、寺カ畿内、凡ニ九ノ下ヲシタ

(民陽寺) 攝津國河辺郡、民陽村。神武天皇紀、一千  
三百年、聖武天皇ノ御宇、天智五年、建久。  
寺、民陽

(民陽池) 民陽寺カ東ノ町。一、眼射、居ル池トシテ同ニ云  
一、眼射、居ル池トシテ同ニ云  
一、眼射、居ル池トシテ同ニ云

(行基) 高僧。モト百濟國手系統。父ハ高志氏貞知、母ハ峰田首鹿公身ハハタカヲトシ、トシ  
行基、美ノ日、中ニテ大僧トシテ授ケタ始メテハ一代カ、ハ  
行基、美ノ日、中ニテ大僧トシテ授ケタ始メテハ一代カ、ハ

(祇園御八講) 上古、陰曆二月八日、祇園ニ於テ行ナレタ式事。法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

(講師) 法華八卷ノ大意ヲ論ジ、モ  
マ、講師トシテ定メ、八講壇ヲカマヘ、ソノ右ノカハ佛名ヲトシ、

花ヲサレシム。故ニシカニ。或ニ年固リ、アホシイテ下ルカ  
カレハ梅茂ラサレハサカシ。  
社ヲ云フ語。

(北野天満宮) 社ヲ云フ語。

(茶禪供) \*前ノ条  
参考。

(北野宮) 京都、北野。  
旧社領五百八十石。

神武天皇紀元一千六百年、朱雀大台寺御宇、天慶三年、世臣原道貞ノ七雲方京都、右京、七条ノ  
御宇、(北野)ニ東リウツリ、右近馬場ニ住マセテ皇トシ望ミタリ、ヤカシク、後七年、神  
女、(文子)ニ東リウツリ、村上天宮ノ御宇、(養)元年ニシテ、託宣ニ從ヒ、即  
チ北野右近馬場ニ社ヲ建テサレシメ、(北野)ニ住マセ、更ニ其後、神武天皇紀元一千六百二十九年、村上天  
宮御宇、天德三年、藤原師輔、(藤原)ノ宗願ニシテ、神政ヲ漸ク改テ、セリカ、ソノ向、道貞ノ孫、  
ニシテ、(北野)ニ住マセ、(北野)ニ住マセ、  
元ノ、\*後ノ北野天  
神多シ多考。

是善ノ幻也。由レ伴氏。神武天皇紀元一千六百五十年、仁明天皇御宇、承和十二年、(北野)ニ住マセ、  
十一歳進ニテ侍後トナリ、ヤカシク、  
ソノ九年、  
五十五歳ノ時、  
屋敷カケ道貞ノ對シテ、  
道貞ハ、  
延喜三年、  
十五ノ、

(菅原道貞) 北野宮ニ住マセ、  
大自在天トモ稱シカ。道貞、モト菅原  
是善ノ幻也。由レ伴氏。神武天皇紀元一千六百五十年、仁明天皇御宇、承和十二年、(北野)ニ住マセ、  
十一歳進ニテ侍後トナリ、ヤカシク、  
ソノ九年、  
五十五歳ノ時、  
屋敷カケ道貞ノ對シテ、  
道貞ハ、  
延喜三年、  
十五ノ、

(北野) 道貞、モト菅原  
是善ノ幻也。由レ伴氏。神武天皇紀元一千六百五十年、仁明天皇御宇、承和十二年、(北野)ニ住マセ、  
十一歳進ニテ侍後トナリ、ヤカシク、  
ソノ九年、  
五十五歳ノ時、  
屋敷カケ道貞ノ對シテ、  
道貞ハ、  
延喜三年、  
十五ノ、

是善ノ幻也。由レ伴氏。神武天皇紀元一千六百五十年、仁明天皇御宇、承和十二年、(北野)ニ住マセ、  
十一歳進ニテ侍後トナリ、ヤカシク、  
ソノ九年、  
五十五歳ノ時、  
屋敷カケ道貞ノ對シテ、  
道貞ハ、  
延喜三年、  
十五ノ、

是善ノ幻也。由レ伴氏。神武天皇紀元一千六百五十年、仁明天皇御宇、承和十二年、(北野)ニ住マセ、  
十一歳進ニテ侍後トナリ、ヤカシク、  
ソノ九年、  
五十五歳ノ時、  
屋敷カケ道貞ノ對シテ、  
道貞ハ、  
延喜三年、  
十五ノ、

是善ノ幻也。由レ伴氏。神武天皇紀元一千六百五十年、仁明天皇御宇、承和十二年、(北野)ニ住マセ、  
十一歳進ニテ侍後トナリ、ヤカシク、  
ソノ九年、  
五十五歳ノ時、  
屋敷カケ道貞ノ對シテ、  
道貞ハ、  
延喜三年、  
十五ノ、

是善ノ幻也。由レ伴氏。神武天皇紀元一千六百五十年、仁明天皇御宇、承和十二年、(北野)ニ住マセ、  
十一歳進ニテ侍後トナリ、ヤカシク、  
ソノ九年、  
五十五歳ノ時、  
屋敷カケ道貞ノ對シテ、  
道貞ハ、  
延喜三年、  
十五ノ、

(大自在天神) 帶、道貞ヲ神トシテ奉リ、  
神ト稱シタノニ伴ナラセ  
皇紀元一千六百六十九年、一孝天皇ノ御宇、寛弘六年、  
三月、  
(和泉殿) 同上、ソノ。  
在良。鳥羽天皇ノ侍流  
保正二年。  
(李御讀經) 宇野、  
儒ニテ、  
自稱ニテ、  
ニ候ス。  
ノ事、  
ニテ、

(菅原相) 菅原道貞ヲ、後  
世ニ傳フ、  
(菅原相) 菅原道貞ヲ、後  
世ニ傳フ、

(北野) 道貞、  
道貞、  
延喜三年、  
十五ノ、

(三位殿) 同上、ソノ。和  
泉殿カニシ。各  
在良。鳥羽天皇ノ侍流  
保正二年。  
(李御讀經) 宇野、  
儒ニテ、  
自稱ニテ、  
ニ候ス。  
ノ事、  
ニテ、

(北野天神) 北野天神宮ト、別體ノ神。  
主神。北野天神宮ヨリ前早クスニ、  
ノ事、  
ニテ、

(北野天神) 北野天神宮ト、別體ノ神。  
主神。北野天神宮ヨリ前早クスニ、  
ノ事、  
ニテ、

(北野天神) 北野天神宮ト、別體ノ神。  
主神。北野天神宮ヨリ前早クスニ、  
ノ事、  
ニテ、

(北野天神) 北野天神宮ト、別體ノ神。  
主神。北野天神宮ヨリ前早クスニ、  
ノ事、  
ニテ、

天神祇餅(シラシラトモシ)ムカレ、陰曆二月十日、江戸湯島天神社、別有喜見院カラ氏子ニ配ラケル餅。四角ニ切ラケテ、マブ神供トスルモノ。  
 (湯島天満宮) 江戸湯島ニアル天満宮。神武天皇紀云、二十二年三月十八年、後土  
 大報恩寺遺教経會(大報恩寺)ムカレ、陰曆二月九日、大田道隆、建ズ。大報恩寺ニオイテ、智積  
 (忠信備前守高平)カラ行ナセハレタモ。  
 (遺教経會) ムカレ、陰曆二月十日、大報恩寺、建ズ。大報恩寺ニオイテ、智積

(訓讀會) 遺教経會ノ  
 瑞雁山(スズガハ) 大報恩寺  
 大報恩寺(大報恩寺) 京都、上五  
 賣、本寺。日

(求法) 高(高)三、遂(遂)自(自)之(之)浮(浮)合(合)是(是)先(先)、又(又)遂(遂)大(大)報(報)恩(恩)寺(寺)ヲ(ヲ)建(建)ズ(ズ)ル(ル)也(也)。建(建)ズ(ズ)ル(ル)也(也)。  
 續(續)二(二)十(十)九(九)百(百)二(二)十(十)二(二)年(年)、四(四)冬(冬)天(天)皇(皇)ノ(ノ)御(御)宇(宇)、仁(仁)治(治)二  
 年(年)ノ(ノ)二(二)月(月)十(十)日(日)也(也)。  
 二月堂水取(ニケツ堂水取) 陰曆二月  
 二十日、日(日)ニ(ニ)ハ(ハ)リ(リ)マ(マ)リ(リ)テ(テ)七(七)日(日)ノ(ノ)向(向)行(行)ナ(ナ)レ(レ)テ(テ)式(式)事(事)。

二月堂水取(ニケツ堂水取) 陰曆二月  
 二十日、日(日)ニ(ニ)ハ(ハ)リ(リ)マ(マ)リ(リ)テ(テ)七(七)日(日)ノ(ノ)向(向)行(行)ナ(ナ)レ(レ)テ(テ)式(式)事(事)。  
 法有(フツアリ) 朔日(ソツトチ) 奉(ホウ)良(リヤウ) 二(ニ)月(グハツ)堂(ドウ)ニ(ニ)集(シユ)ル(ル)コ(コ)リ(リ)七(シチ)日(ニチ)ニ(ニ)シ(シ)ユ(ユ)ル(ル)。

常樂會(ジョウラクエ) 聖徳太子、四天王寺、二月初五日、奉(ホウ)良(リヤウ) 興(キョウ)福(フク)寺(ジ)ニ(ニ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。  
 (常樂會) 聖徳太子、四天王寺、二月初五日、奉(ホウ)良(リヤウ) 興(キョウ)福(フク)寺(ジ)ニ(ニ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。

積塔會(シヨウタカエ) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。  
 (積塔會) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。

雨夜皇子(アメノヨノミコ) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。  
 (雨夜皇子) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。

清聚庵(シヨウシュアツ) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。  
 (清聚庵) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。

聖靈會(セイリョウエ) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。  
 (聖靈會) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。

比叡八講(ヒゲイハツカウ) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。  
 (比叡八講) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。

釋奠(シヤクヂン) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。  
 (釋奠) 聖徳太子、二月初五日、檢(ケン)校(コウ)以(以)下(カ)衆(シユ)分(ブ)シ(シ)テ(テ)行(ハカ)シ(シ)ル(ル)也(也)。

文武天皇太極元年二月丁巳始メテ... 信濃ノ浅間ノ...

二月肤

高物情陰而抱陽冲氣以為和 故曰二月而膏

二判問答

一條辨良ノ春有谷ノ...

二名

二名ノ各ノ各...

二谷

東京ノ谷ノ字ノ付ク...

四谷

同上ノ...

二橋

東京ノ橋ノ字ノ付ク...

柳橋

同上又...

日牛橋

同上又...

右馬頭

同上又...

二春

二月ノ節ノ...

二宮大獵

二月ノ節ノ...

二茨山

日ノ大明神ノ節ノ...

二坂

東京ノ坂ノ字ノ付ク...

二馬頭

左馬頭ト右馬...

新橋

同上ノ...

神樂坂

同上ノ...

左馬頭

同上ノ...

